

## [4] 東淀川区東部

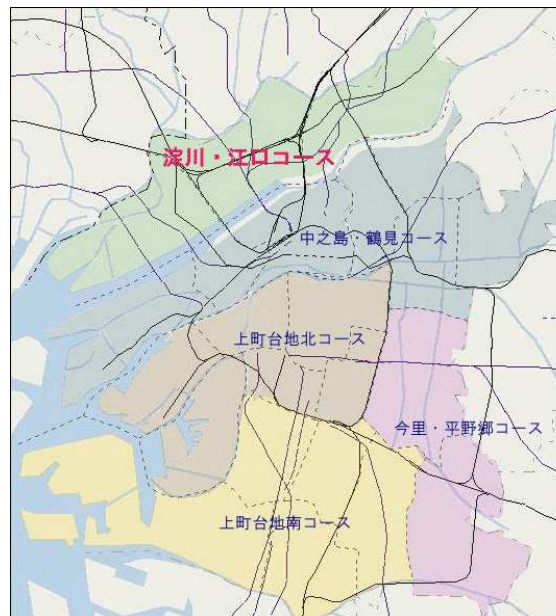
- 20 **瑞光寺**：境内の池に架かる雪鯨橋は、鯨の骨でできた欄干を持つ珍しいもの。江戸時代からの紀州太地浦との縁を物語る。（東淀川区瑞光二丁目2）
- 21 **松山神社**（天満宮、東淀川区小松四丁目15）
- 22 **寂光寺＝江口の君堂**：境内には当地の遊女 江口の君（平資盛の娘 妙）と西行法師の説話から、二人の歌を刻んだ歌碑が建っている。（東淀川区南江口三丁目13）
- 23 **大隈神社**：このあたりは応神天皇の大隈の宮があったところといわれる。（東淀川区大桐五丁目14）
- 24 **逆巻の地藏尊**：弘化3年(1846)、現在は淀川の河川敷になっている阪巻村（豊里大橋付近）に、淀川の水難者の冥福を祈って建立された。大正12年(1923) 現在地に移転。（東淀川区大桐五丁目4）
- 25 **乳牛牧跡**：このあたりは平安時代に乳牛が飼育され、医薬品としてチーズやバターに類する乳製品が作られていたという。（東淀川区大桐四丁目、大桐中学校横）
- 26 **大宮**：6世紀のころ、安閑天皇はこの付近で牛を放牧し開墾を図ったといい、また聖徳太子は最初四天王寺の建立をこの地に計画したという。（東淀川区大道南三丁目2）
- 27 **平田の渡し跡**：昭和45年(1970)に豊里大橋ができるまで、この場所に渡し場があった。（東淀川区豊里三丁目、淀川右岸堤防上。対岸にも碑がある。）
- 28 **定専坊**（東淀川区豊里六丁目14-25）



20 瑞光寺と雪鯨橋



23 大隈神社



凡 例	
	歴史の散歩道
	その他の経路
	史跡等
	その他の施設
	鉄道及び駅

## お願い

歴史の散歩道は、安全・快適に歩けることを第一に経路を設定していますが、中には交通量の多い道路もありますので、十分注意してお歩きください。また、日差しの強い季節の散歩には帽子の着用をお勧めします。

なお、地図に示した史跡等の位置は、このしおり作成時点のもので、その後建物の建て替えなどで別の場所に移っている場合もあります。



### サイン柱と つたい石

歴史の散歩道には散策の助けとなるよう、「サイン柱」と「つたい石」の設置を進めています。これを目印にお歩きください。

旧タイプ

新タイプ

## [1] 西淀川区と淀川区西部

- 1 **佃漁民ゆかりの地**：このあたりは古来漁業の盛んな地であった。寛永7年(1630)、この地の漁民の一部が江戸へ移住し、現在の東京佃島の元を築いた。(西淀川区佃一丁目18、田蓑神社本殿左)
- 2 **大和田城跡**：石山本願寺の出兵として築城された16世紀の城跡。(西淀川区大和田四丁目3、大和田小学校校庭北西隅)
- 3 **判官松伝承地**：九郎判官 源義経が屋島へ向かって船出したところ、暴風にあい当地に漂着した。そこで住吉大明神に平安を祈願したところ風も止み、無事平家を討つことができたという。そのとき記念に植えた松が明治10年(1877)に落雷で焼失するまでここにあったと伝えられている。(西淀川区大野二丁目4、大野下水処理場北東角)
- 4 **姫嶋神社** (西淀川区姫島四丁目14)
- 5 **住吉神社** (西淀川区野里一丁目、境内に野里の渡し跡の碑と説明版がある。)
- 6 **野里の渡し跡、榎の橋跡**：淀川が開削されるまで流れていた中津川にあった渡し場と後に架けられた橋の跡。(西淀川区野里一丁目20-14)
- 7 **上田秋成寓居跡、加島鑄銭所跡**：雨月物語の作者上田秋成は香具波志神社に4年間滞在した。秋成の墓も当地にある。加島鑄銭所は天明3年(1783)から3年間同神社の北にあった。良質の銭を鑄造したという。(淀川区加島四丁目4、香具波志神社門前左)



6 野里の渡し跡  
榎の橋跡



2 大和田城跡

**大和田街道**  
淀川の右岸、阪神高速道路の高架下から西北西へ伸びる道が旧大和田街道である。姫嶋神社付近では旧街道の面影をわずかながら残している。



13 中島大水道跡



16 摂津国分尼寺伝承地

